

経営比較分析表（令和元年度決算）

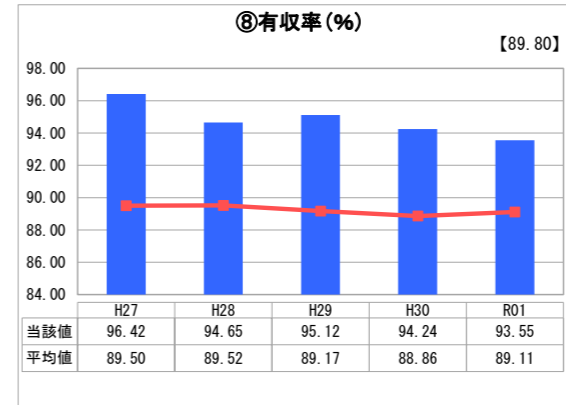
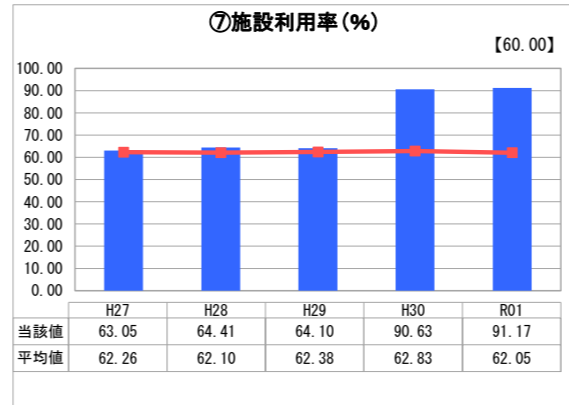
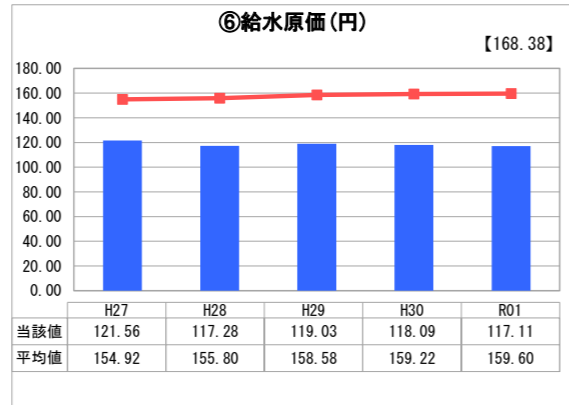
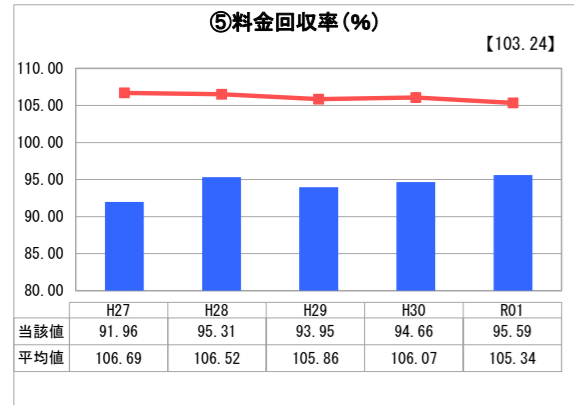
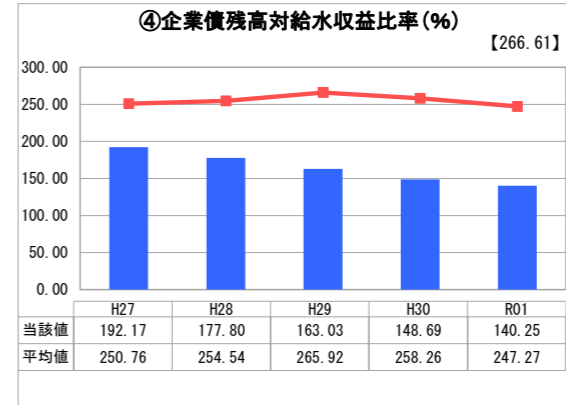
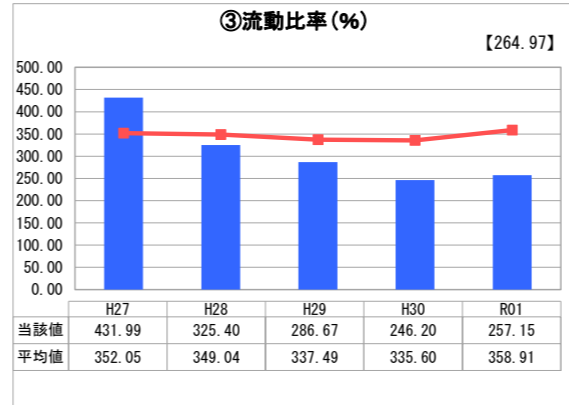
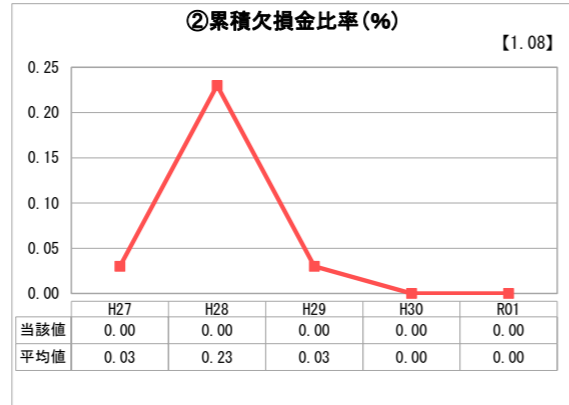
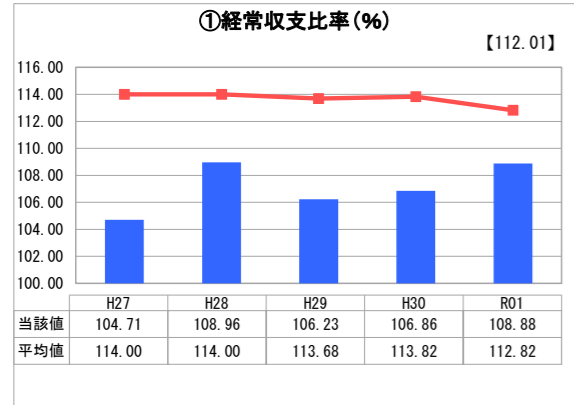
埼玉県 ふじみ野市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	80.99	100.00	1,933	

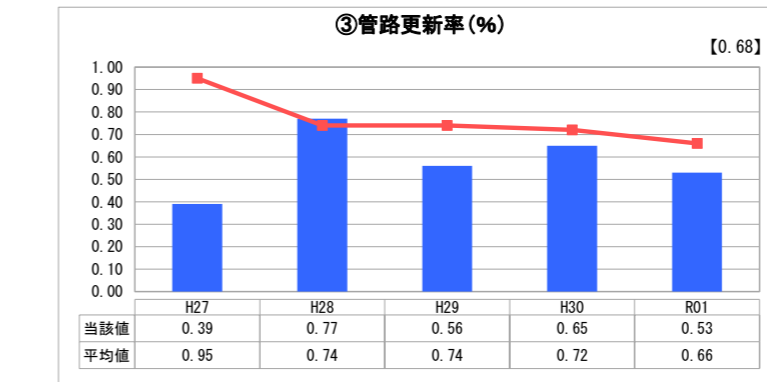
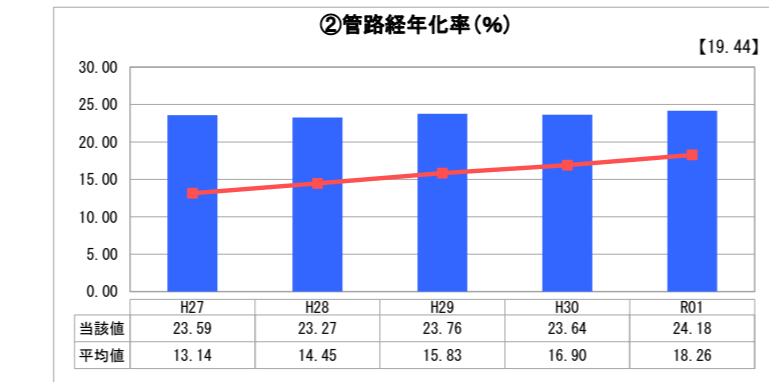
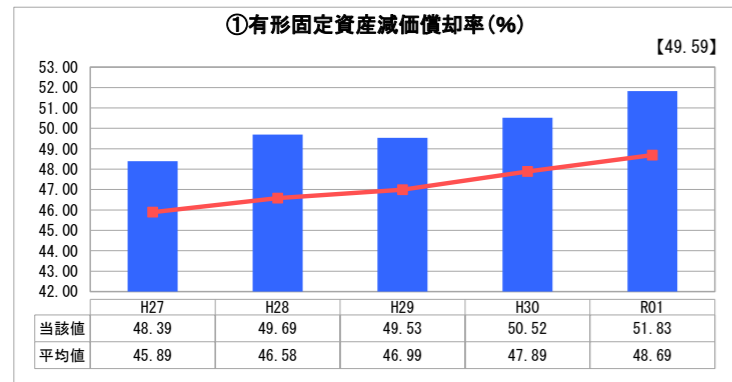
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
114,306	14.64	7,807.79
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
114,842	14.64	7,844.40

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
類似団体平均値(以下「平均」とする。)と比べ若干低い結果です。平成25年度以降は100%を超えて増加傾向であり、利益が発生しています。
- ② 累積欠損金
平成26年度以降、0%であり、健全経営を維持しています。
- ③ 流動比率
平均を下回り減少傾向にあるため、補助金や起債等を活用し、現金預金の確保を目指します。
- ④ 企業債残高対給水収益比率
平均を下回り、債務残高が低く抑えられていますが、今後は施設の耐震化等を進めていくこととなるので、企業債残高を適正に管理する必要があります。
- ⑤ 料金回収率
平均より低く、100%を切っている状態であるため、料金改定を含めた適切な料金収入の確保が課題と考えます。
- ⑥ 給水原価
平均よりかなり低い状態が続いていることから、引き続き効率的な経営を続けていきます。
- ⑦ 施設利用率
平成30年度に事業認可の変更を行い一日最大給水量(一日配水能力)を改めたことにより上昇しました。本市水道事業基本計画により、ダウンサイジングを含めた施設更新を行っていきます。
- ⑧ 有収率
平均より高い水準で推移しています。引き続き100%

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
平均とほぼ同水準ながらも増加傾向で推移している状態です。数値が100%に近いほど施設の老朽化が進んでいると判断されることから、本市水道事業基本計画で定めた耐震化及び更新事業計画、投資財政計画により水道事業を運営していきます。
- ② 管路経年化率
本市水道事業基本計画及び同時に策定した配水管網整備計画に基づき計画的に施設の更新に取り組みます。
- ③ 管路更新率
0.53%と前年度比で0.12ポイント減少しました。年度により更新率の差が生じているため、計画的な施設の更新に努めていきます。

全体総括

現状では、平均と同水準であり健全な経営が行われている状態であるものの、収益性や料金回収の向上に関しては経営改善の余地があると考えます。老朽化については、経年化率が高いため、本市水道事業基本計画をもとに耐震化事業及び管路更新事業を計画的に進めていきます。今後、施設の老朽化・耐震化への対応で多額の資金が必要となるため、企業債の活用等計画的な財源確保が必要となります。水道事業基本計画での財政の長期見通しでは段階的な水道料金の改定が必要となる場合も想定されることから、将来計画に合わせた水道料金の適正化について、検討を進めていきます。